

総合的な学習の時間 全体計画

<p>学習指導要領</p> <p>〈児童の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的基本的な学力は身に付いてきているが、一部の児童には定着しづらい。自らの考えを伝えようという意欲や方法には課題がある。 <p>〈地域の実態〉</p> <p>旭学区には、府中味噌や府中家具など府中に代表される伝統が残っている。古くから働く人々の地域に対する思いが強い。</p>	<p>学校教育目標</p> <p>かしこい子 やさしい子 つよい子の育成</p> <p>【本校で定める総合的な学習の時間の目標】</p> <p>地域の自然・福祉・産業・文化等とかがわり、探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、仲間と協力して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。</p>	<p>〈保護者・地域・教職員の願い〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的基本的な学力の定着 学習規律の確立 問いをもち続け、主体的に学ぶ姿 <p>〈地域との連携〉</p> <p>福祉 セイティ信和 社会福祉協議会 環境 保護者 町内会 老人会 産業 工場 企業</p>
---	--	--

学年	第3学年 (70H)	第4学年 (70H)	第5学年 (70H)	第6学年 (70H)
単元名 (時数)	1 たんけんに行こう ^⑧ 2 「はたらく」とはどういうことか調べよう ^⑨ 3 心ほかほか むれあい活動 ^⑩	1 私たちの環境を守ろう ^⑪ 2 1/2 成人式をしよう ～夢に向かって～ ^⑫	1 府中市の産業について調べよう ^⑬ 2 府中市の産業を知ってもらう方法を考えよう ^⑭ 3 府中市の産業をPRしよう ^⑮	1 自分たちと地域の人のつながりを考えよう ^⑯ 2 日本や地域の魅力を発信しよう ^⑰ 3 これまでの私、これからの僕 ^⑱
探求課題	1 地域の伝統や文化とその継承に関する課題 2 地域活性化のための取組に関する課題 3 身の回りの高齢者とその暮らしに関する課題	1 身近な自然環境とそこに起きている環境問題に関する課題 2 自己の成長と将来に関する課題	1 地域活性化のために取り組んでいる人々に関する課題 2 ものづくりの面白さや工夫と生活の発展に関する課題	1 身の回りの人の暮らしを支援する仕組みや人々に関する課題 2 日本の伝統文化や価値観継承に関する課題 3 自己の生き方に関する課題
資質・能力				
観点の主旨	3つの柱			
知識・技能	知識及び技能	○自分たちの住む地域の特徴についての具体的な事実を捉え、自分の暮らしとのつながりや関わり気付く。	○地域社会の課題についての具体的な事実を捉え、自分の暮らしとのつながりや関わり気付く。	○地域社会の課題についての理解を深め、よりよい地域社会との関わり方に気付く。
思考・判断・表現	思考力・判断力・表現力	○事象に対する疑問や思いをもとに学習課題を設定する。【課題の設定】 ○課題解決に必要な情報を図書館資料やインターネット、インタビュー等で収集し、選択する。【情報の収集】 ○複数の情報を比較したり、相互に関連付けたりしながら自分の考えをつくる。【整理・分析】 ○調査したことやまとめたこと、自分の考え等を、新聞、図、ポスター、表、グラフ等で表現する。【まとめ・表現】	○目的意識を明確にもち、時間等を考えて学習計画を立てる。学習計画を修正したり改善したりする。【課題の設定】 ○目的に応じ、的確に情報を収集選択し、蓄積する。【情報の収集】 ○情報をもとに、類推したり、帰納的に考えたりし、知識や技能と関連付けて自分の考えをつくる。【整理・分析】 ○追求して構築した自分の考えを論述する。追求したことや自分の考えを目的や相手に応じてわかりやすく表現する。【まとめ・表現】	
主体的に学習に取り組む態度	学びに向かう力・人間性等	○課題の解決に向けて主体的に取り組む。 ○自他の考えを交流しながら、協働的に学ぶ。 ○学習を振り返り、目的を意識した自己評価・相互評価をする。	○学習を振り返り、プロセスを意識し、課題解決の過程をメタ認知する。 ○学習して獲得したことを実生活・実社会に生かしていく。	
地域との連携	○味噌づくり体験指導 ○町内会	○オガワエコノス ○旭学区クリーン大作戦	○稲作指導者 ○市内の工場、企業	○点字・盲導犬等の体験 ○セイティ信和 ○町内会
学習活動	○第3学年は地域の伝統・文化、産業、第4学年は環境、第5学年は地域の産業、第6学年は日本や地域の魅力を発信することを探究課題として必ず設定する。また、その他に児童の興味・関心に基づく課題を設定して学習する。			
指導方法	○単元の内容に応じて、教科と関連付けながら学習を進めることとする。 ○児童の主体的な学習を生むための教材を準備し、適切な体験活動を仕組むようにする。 ○課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の学習サイクルを他者と協働しながら行うよう設定する。			
指導体制	○C・S担当を中心に、地域人材の活用のための体制を整え、積極的に活用する。 ○内容に応じて、特定の期間に集中して学習活動を行ってもよいこととする。 ○児童の興味・関心を踏まえて、教室や学校図書館等の学習環境を整備する。			
学習評価	○育成を目指す具体的な資質・能力の観点をもとに児童の制作物、意識調査、ふり返しカードの記述、授業の発言内容等から評価する。			